

新潟大学附属新潟中学校

夏のオンライン授業実践研修会 <<ご案内>>



さあ語ろう



省察の夏



次の実践への扉



<研究主題> 豊かに対話するコミュニティの形成を通した
生徒と教師の学びの深まり(2年次)

研修会趣旨

教師の学びの場をつくりたい！自らの教師としての力を自覚するためには、多様な教師との対話が必要です。しかし、教師の「〇〇力up」のように抽象的に話をしても、なかなか対話は深まりません。だからこそ、多様な教師が集い、具体的な生徒と教師のエピソードを基に語り合い、それを鏡に自身の実践や授業観を見つめ直し、学び合う場をつくりま

授業実践の概要

教科／授業者	「単元・題材」(学年)／主題／概要
国語 水口 剛志	「人間は他の星に住むことができるのか」(2学年)／説得力の正体 説得力とは相手を説き伏せるための力なのか？論説文を読んだとき、この人の話をもっと聞きたい、対話してみたいと思った経験はだれしもあるはず。説得力とは、新たな対話を生み出すためのものではないかという前提に立ち、読み手の思考を促す論説文を執筆し、それを基に対話を生み出していく授業を省察します。
数学 橋本 善貴	「式の計算」(2学年)／数の性質の論証コミュニティの形成 見いだした数の性質はなぜ成り立つのか？文字式を使って証明するよさとは何か？仲間の納得を得ようと多様な既知を基に証明を創る生徒たち。自他の証明の妥当性を検討する中で、共通言語として「証明の観点」を創り、数の性質の論証に生かしていく授業を省察します。
音楽 松川 知樹	「創作」(2学年)／調とコード進行が生み出す音楽表現の奥深さ 調とコード進行に、誰もが共通して感じる雰囲気は存在するのか？調とコード進行は作品にどのように生かされるのか？音楽がもたらす自他の心情を捉え、自分の意図に合う音楽表現を求めて創作する授業を省察します。仲間の捉えや思考は作品にどう生かされるのか、創作授業における交流・検討の必要性を具体的な生徒の姿を基に再考します。

お申込み

- ✓ Googleフォーム (<https://forms.gle/RmSHq4JGVkKyDDe76>)より **8月17日(日)までに** お申込みください。

↓お申込み↓

- ✓ 8月18日(月)までに、当日のZoomURL、授業の省察資料等をお申込みいただいたメールアドレスに送付させていただきます。



- ✓ 参加費無料！

当日の流れ

8月19日(火)

- 13:15～13:30 Zoom 受付
- 13:30～13:50 はじめに (全体発表)
- 13:50～15:20 教科ごとの**授業省察**
- 15:30～16:30 **ご講演**
- 16:30～16:40 おわりに

授業者が単元の学びのストーリーを発表します。**たっぷり！**
参観されていない方にも伝わるよう、具体的に物語ります。
参観された方は、生徒たちの“その後”を知ること、本時の意味が新たに見えてくるかもしれません。
私たちの実践を鏡に、一緒に実践を語り合い、見つめ直す90分！

福井大学 木村 優 様・東京大学 一柳 智紀 様・新潟大学 有井 優太 様 より
ご講演いただきます！コミュニティの形成を通した生徒と教師の学びとは？

お問い合わせ先

新潟大学附属新潟中学校 研究主任 橋本善貴

☎ 025-223-8341

✉ hashimoto@fuchu.ngt.niigata-u.ac.jp

豪華！